

# 地域金融と競争政策

## ～銀行の経営統合と店舗・債権譲渡、アメリカの事例を中心に～



成城大学名誉教授 村本 孜

### ～要旨～

2018年4月に金融庁の「金融仲介の改善に向けた検討会議」が『地域金融の課題と競争のあり方』報告を公表し、地域金融機関の経営統合に関する現状分析と提言を行なったが、地域銀行同士の経営統合は進んでおり、福岡フィナンシャルグループによる十八銀行の統合は、公正取引委員会の承認に2年有余を要し、漸く2018年8月に承認された。人口減少・企業減少という構造的変化の中で、資金需要は減少し、地域銀行の経営は厳しくなっており、市場環境にもよるが、経営統合も持続的なビジネスモデル確立の重要な選択肢になる。公取対金融庁という図式での議論は必ずしも地域の金融市場での競争問題を正しく映すものではない。公取は市場シェアの高まりが競争を阻害し、需要者の選択肢がなくなることが地域の経済的厚生を毀損し、消費者の不利益になることを問題視したようである。ところが、地域金融市場でのシェアはそれほど問題なのであろうか。事実、十八銀行は貸出債権を他行に譲渡（借り換え）することで、問題となる貸出市場でのシェアを引き下げる努力をし、約10%のシェアを引き下げたが、それでも約65%という。リレーションシップで成り立つ中小企業取引を破壊してまでシェアを引き下げることに果たして意味があるのだろうか。この観点から、地域金融と競争政策を整理してみたい。

### <目次>

0. はじめに～猿払の奇跡～

1. アメリカの銀行統合

[1.1] 銀行数から見た統合

[1.2] アメリカの銀行統合における問題解消措置

2. 個別事例に見る事業譲渡（店舗譲渡）

[2.1] Huntington Bancshares の FirstMerit の併合（2016年7月）～店舗譲渡が行なわれた事例～

[2.2] Commercial Bancgroup の Citizens Bank の併合（2017年12月）～店舗譲渡なしの事例～

[2.3] Wachovia の事例

2-3-1) Wachovia の統合小史

2-3-2) SouthTrust の買収（2004年11月）～店舗譲渡の例～

2-3-3) Golden West の買収～店舗譲渡なしの例～

2-3-4) 2事例から見る統合

3. アメリカの監督当局の統合審査

[3.1] 統合審査

[3.2] 当局間の異なる判断の解決策

4. 終わりに

〔補論1〕HHI（Herfindahl-Hirschman Index）の問題点

〔補論2〕金融システムと競争政策

本号掲載

本号掲載

## 0. はじめに～猿払の奇跡～

地域金融の分野で経営統合について議論があり、2018年8月に公正取引委員会の承認を得た福岡フィナンシャルグループによる十八銀行の株式取得による統合はかなりの論議を呼んだ。地域金融と競争政策には議論されるべき課題が多い<sup>1)</sup>。人口減少・企業減少という構造的変化（日本銀行は「慢性ストレス」と呼称している<sup>2)</sup>）の中で、資金需要は減少し、地域銀行の経営は厳しくなっている。市場環境にもよるが、経営統合も持続的なビジネスモデル確立の重要な選択肢になる。公取は地域の金融市場でのシェアの高まりが競争を阻害し、需要者の選択肢がなくなることが地域の経済的厚生を毀損して、消費者の不利益になることを問題視したようである。ところが、地域金融市場でのシェアはそれほど問題なのであろうか。事実、十八銀行は貸出債権を他行に譲渡（借り換え）することで、問題となる貸出市場でのシェアを引き下げる努力をし、約10%のシェアを引き下げたが、それでも約65%という。リレーションシップで成り立つ中小企業取引を破壊してまでシェアを引き下げることに果たして意味があるのだろうか。

一例を挙げよう。地域での預金シェア82%・貸出シェア55%であるが、地域に大きく貢献している稚内信金は「猿払村の奇跡」を成し遂げた。猿払村は稚内の東隣で、オホーツク海に面した人口2,783人・1,277世帯（2018年9月1日現在）の日本最北端の村で、北海道で一番広い村でもあり、過疎指定を受けている。総面積の8割が山林や原野と湿原で、湿原に点在する湖沼の数は100以上である。この猿払村は総務省の「市町村課税状況等の調」によると納税義務者1人当たり課税対象所得が2017年に813万円で、全国1,741自治体の第3位である。1位は港区(1,115万円)、2位は千代田区(940万円)である。

猿払村は2010年に平均所得が全国第76位で361万円だったが、2014年5位・2015年3位と躍進し、所得額も2倍以上になった北の富裕村である。戦後、炭鉱とニシン・ホタテ漁で栄えるも、エネルギー政策の転換やニシンが来なくなったこと、林業の衰退で疲弊し「貧乏見たけりゃ猿払へ」と言われるほど困窮を極めたという。これを打破すべく1971年に猿払村漁業協同組合のホタテ稚貝放流10年計画が立てられた。ニシン漁の後、ホタテ漁を支えとしてきたが乱獲で衰退したため、村の税収1年分ともいわれる巨費を投じ、ホタテ放流事業に村の復興を賭けた。この巨費を賄うために村の各戸が相当額の拠出を行なったという。当時の村長と漁協組合長の決死の覚悟の挑戦で最悪の事態を脱したのである。1981年にホタテ漁業造成事業を終了し、以降、計画的な稚貝放流と徹底した資源管理により驚異的なホタテ水揚量を維持可能となった。4～5年で収穫する計画的な事業とすることにより、道内で最貧といわれた村は平均所得で徐々にランクを上げ、全国屈指の高所得自治体となった。物価水準を考慮すれば全国トップである。

地元の金融機関である稚内信金は、1971年の最悪の局面を脱した後、事業が大きく成長する過程でホタテ加工に取り組んだ民間事業者への安定した資金供給を行ない、稚内の水産加工業者に販路を開くなど、伴走型の支援を行なって今日の繁栄をもたらしたのである。地域金融は、そこに存在して、永く継続して経営支援・経営相談にあたるというコンサルティングを基礎にしたリレーションシップを維持することによって、地域の活性化を図ることが肝要なのである。地域でのシェアが高いから競争が損なわれるという観点だけでなく、地元いかに向き合うのかという姿勢がポイントなのである。

本稿では、このような地域金融の特性・個別性を考えるとき、地域金融機関の経営統合が万能不能いし特効薬と考える風潮に疑問なしとしなが、現実に生じている経営統合を考える一助として、地域金融と競争政策の問題を整理することとしたい。

前述のように、一般に人口減少・企業減少という構造的変化（慢性ストレス）の中で、地域銀行の経営は厳しくなっており、経営統合も重要な選択肢になる。経営統合は、単なる合併のほか、持株会社による株式取得によるものもある。

経営統合は、バックヤードや固定費の削減効果を持ち、規模の経済性を実現するというメリットの一方で、経営統合する市場におけるシェアが高まり、寡占・独占の弊害も生じる懸念がある。競争当局は、企業結合審査において、その弊害の除去を求めることがある。これを「問題解消措置」<sup>3)</sup> という<sup>4)</sup>。バックヤードや固定費の削減のためには、それらの業務の共同化・システム共同化があり、まずはその検討から始めるべきであろう。また、ビジネスマッチング、事業承継・事業再生などの経営支援・コンサルティングなどでも人材の交流を含め、業務提携（アライアンス）によるコラボレーション効果の発揮も検討されるべきである<sup>5)</sup>。経営統合のプラス面もあるものの、マイナス面も大きく、とりわけ超長期にわたる人事抗争（資本を握ったサイドからの人事介入など。統合後の最初の入行生が幹部になるまで続くともいわれる）が生じやすく、現にメガバンクにその例が見られるといわれる。

日本の地域銀行の統合においても、市場シェアの縮小などの観点から、公正取引委員会から事業譲渡などの問題解消措置が求められる事例がある<sup>6)</sup>。地域銀行の場合、貸出の過半が中小

企業向けであり、いわゆるリレーションシップを前提としているケースが多いので、貸出債権の譲渡には問題が多い。この点について、アメリカの事例から考察する。

## 1. アメリカの銀行統合

### [1.1] 銀行数から見た統合

銀行の歴史は、合併の歴史といわれるが、アメリカでは銀行数が多く、その分、統廃合も多い。連邦預金保険公社(FDIC)の統計によれば(表1)<sup>7)</sup>、1990年に商業銀行は12,343、貯蓄金融機関（スリフト）は2,815を数えたが、2017年にそれぞれ4,918・752に減少した。2000年以降でみると、2017年の18年間に商業銀行は3,397減少し、年平均189の減少数である。スリフトは同じ時期に837減少し、年平均47の減少数である<sup>8)</sup>。

アメリカの銀行産業は、参入・退出が活発であることにその特色がある。2000～2017年に問題金融機関数は5,179で年平均288、これが退出数である。この間、商業銀行の新規参入は、年平均71、スリフトは8なので、合計79である。退出と参入の差である209がネットの減少数といえよう。

表1に見るように、2000～2017年に統合（合併）は、商業銀行で4,479、スリフトで731あり、合計5,210で、この数は問題金融機関数にほぼ一致する。極論すれば、問題金融機関の処理は殆んど統合によっているといえよう。

何れにせよ、アメリカの銀行産業は、淘汰と参入そして統合数が極めて多い。したがって、統合に当たって、競争制限に対して、競争政策当局から問題解消措置が講じられることもある。実務的には、事前折衝で調整していると思われる、問題解消措置としては、具体的には、店舗譲渡の措置が多いように思われる。この対応を参考にして、銀行の経営統合について日本でも問題

表1 アメリカ預金金融機関の数(FDIC統計)

			2017	2016	2015	2014	2013	2012	2011	2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	2000	
Commercial Banks	減少数	-3,397	4,918	5,112	5,338	5,607	5,847	6,072	6,275	6,519	6,829	7,076	7,279	7,397	7,523	7,828	7,767	7,887	8,080	8,315	
	New Reporters	合計	1,280	5	-	1	-	1	-	3	9	25	89	164	178	166	122	110	91	126	190
		平均	71																		
Mergers	合計	4,479	196	221	264	238	203	172	165	184	152	261	282	305	269	261	224	276	354	452	
	平均	249																			
	2003~2017	3,397																			
Savings Institutions	減少数	-837	752	801	844	902	965	1,011	1,082	1,139	1,183	1,229	1,255	1,283	1,310	1,348	1,414	1,467	1,534	1,589	
	New Reporters	合計	135	-	-	-	1	-	-	2	6	9	17	16	13	6	8	4	20	33	
	Mergers	合計	731	34	30	40	35	29	36	31	13	27	32	39	37	41	58	49	56	63	81
Problem Institutions	Number	合計	5,179	95	123	183	291	467	651	813	884	702	252	76	50	52	80	116	136	114	94

(出所) <https://www.fdic.gov/bank/statistical/stats/2018mar/fdic.pdf>

解消措置が考えられている。

アメリカは情報開示が徹底されており、各種統計も開示されているが、5,210件の統合のうち、何件が店舗譲渡などを伴う統合なのか、あるいはその具体的方策などについては、残念ながら包括的ないし一覽的には把握できないと思われる。そこで、アメリカ司法省(DOJ)や監督当局(Fed)などのプレス・リリースなどを手掛かりにケース・スタディを試みる。

## [1.2] アメリカの銀行統合における問題解消措置

公正取引委員会は、2017年12月6日の事務総長定例記者会見で、「企業結合審査の考え方について(参考資料)」を配布資料として提示した。その中に、アメリカを含む「諸外国における銀行の統合案件(問題解消措置が採られたもの及び禁止決定が行なわれたもの)」を掲げている(表2)。これによれば、2003～2016年に8件の問題解消措置を伴う統合案件が認可された。

表2の事例を手掛かりとして、司法省(DOJ)、連邦取引委員会(FTC)、連邦準備(Fed: Board of Governors of the Federal Reserve System、FRBとも称する)のプレス・リリース、

ニュースなどを検索し、具体的な事例を辿る試みを行なった。その結果、無論全てを網羅しているわけではないが、2000～2016年において22件の事例を、また2003年以降では11件の事例を司法省のプレス・リリースから得ることができた(以下の1:～22:の事例)。

注3で見たように、日本では企業結合審査の運用指針(企業結合ガイドライン)を定めているが、アメリカでも司法省(DOJ)の“DOJ Bank Merger Guidelines”がある。合併後のHHI(ハーフィンダール・ハーシュマン指数<sup>9)</sup>が、1,000以下であればunconcentratedで、競争上問題なしである。1,000～1,800ではやや集中的moderately concentratedで、1,800超であれば集中度が高いhighly concentrated。HHIが1,800超でも統合によるHHIの増分が200以上でない場合には銀行のM&Aは許容される。DOJ銀行統合ガイドラインの集中度の閾値水準は、預金市場でのシェアで35%超である<sup>10)</sup>。

表3の1:～22:の事例につき、連邦準備(Fed)のプレス・リリースと照合させて、その事例の詳細を整理することを試みる。

表2 アメリカの店舗譲渡を伴う銀行統合

国・地域	時期	事案の概要	市場画定		問題となった市場における当事会社の地位・競争者の状況	問題解消措置
			地理的範囲	役務範囲		
アメリカ	2016年7月	オハイオ州に本店を置くHuntington Bancshares Incorporated及び同州に本店を置くFirst Meritの合併	経済圏 (一つの郡又は複数の郡から成る。)	事業性融資等	合併により、当事会社はオハイオ州で最大の銀行となる	・オハイオ州アシュタブラ郡及びスターク郡に所在する13店舗の売却 ・合併完了後2年以内に閉鎖した店舗の売却・貸与
	2016年4月	オハイオ州に本店を置くKeyCorp及びニューヨーク州に本店を置くFirst Niagara Financial Group Inc.の合併	経済圏 (一つの郡又は複数の郡から成る。)	事業性融資等	合併により、当事会社は国内13位となる	・First Niagara Financial Group Inc.のニューヨーク州パッファロー圏(エリー郡、ナイアガラ郡)に所在する18店舗の売却 ・合併完了後2年以内に閉鎖した店舗の売却・貸与
	2011年11月	ニューヨーク州に本店を置くFirst Niagara Bank N.A.によるバージニア州に本店を置くHSBC Bank USA N.A.の事業譲り受け	経済圏 (一つの郡又は複数の郡から成る。)	事業性融資等	不明	ニューヨーク州エリー郡、ナイアガラ郡及びオーリンズ郡に所在する26店舗を売却
	2011年5月	マサチューセッツ州に本店を置くBerkshire Hills Bancorp Inc.及び同州に本店を置くLegacy Bancorpの合併	経済圏 (一つの郡又は複数の郡から成る。)	事業性融資等	不明	マサチューセッツ州パークシャー郡に所在するLegacy Bancorpの4店舗の売却
	2011年4月	ミシシッピ州に本店を置くHancock Holding Company及びルイジアナ州に本店を置くWhitney Holding Corporationの合併	経済圏 (一つの郡又は複数の郡から成る。)	事業性融資等	合併により、Hancock Holding Companyは国内第32位となる	・ミシシッピ州ハリソン郡及びハンコック郡に所在するWhitney Holding Corporationの7支店の売却 ・ルイジアナ州ワシントン郡に所在するWhitney Holding Corporationの1支店の売却
	2008年10月	アラバマ州に本店を置くRegions Financial Corporation及びアラバマ州に本店を置くAmSouth Bancorporationの合併	経済圏 (一つの郡又は複数の郡から成る。)	事業性融資等	合併により、当事会社はアラバマ州及びミシシッピ州で第1位、テネシー州で第2位となる	・アラバマ州、ミシシッピ州及びテネシー州に所在するAmSouthの52店舗を売却 ・合併完了後3年以内に閉鎖した店舗の売却・貸与
アメリカ (続き)	2004年8月	ノースカロライナ州に本店を置くWachovia及びアラバマ州に本店を置くSouthtrustの合併	経済圏 (一つの郡又は複数の郡から成る。)	預金	不明	・フロリダ州及びジョージア州の4市場におけるSouthtrustの18店舗を売却 ・合併後一定期間内に閉鎖した店舗の売却・貸与
	2003年5月	ノースカロライナ州に本店を置くBB&T及びバージニア州に本店を置くFirst Virginiaの合併	経済圏 (一つの郡又は複数の郡から成る。)	事業性融資等	不明	・BB&Tの11店舗及びFirst Virginiaの2店舗を売却 ・合併後一定期間内に閉鎖した店舗の売却・貸与

(出所) 公正取引委員会事務総長記者会見資料、2018年12月6日。

表3 アメリカ司法省のプレス・リリースに見る店舗譲渡を伴う銀行統合事例

1: Wednesday, July 13, 2016

Justice Department Requires Divestitures in Huntington Bancshares Incorporated's Acquisition of First Merit Corporation *Thirteen Branches in Northeast Ohio to Be Divested*

2: Thursday, April 28, 2016

Justice Department Requires Divestitures in Keycorp's Acquisition of First Niagara Financial Group Inc. *Eighteen Branches in Greater*

*Buffalo, New York, to Be Divested*

3: Friday, November 13, 2015

Justice Department Requires Springleaf to Divest 127 Branches in 11 States in Order to Complete Acquisition of One Main Financial

4: Thursday, November 10, 2011

Justice Department Reaches Agreement with First Niagara Bank N.A. and HSBC Bank USA

N.A. on Divestitures

5 : Wednesday, May 18, 2011

Justice Department Reaches Agreement with Berkshire Hills Bancorp and Legacy Bancorp on Divestitures 4 Bank Branches in Berkshire County, Mass., to be Divested

6 : Friday, April 1, 2011

Justice Department Reaches Agreement with Hancock Holding Company and Whitney Holding Corporation on Divestitures Eight Bank Branches in Louisiana and Mississippi to be Divested

7 : Thursday, December 11, 2008

Justice Department Requires Divestitures in Acquisition of National City Corporation by the PNC Financial Services Group *61 Branches in Western Pennsylvania to Be Divested*

8 : Tuesday, JUNE 12, 2007

Justice Department Reaches Agreement Requiring Divestitures in Merger of First Busey Corporation and Main Street Trust Inc. *Divestitures Resolve Antitrust Concerns and Ensure that Banking Services in Champaign County, Ill., Will Remain Competitive*

9 : Thursday, October 19, 2006

Justice Department Reaches Agreement Requiring Divestitures in Merger of Regions Financial Corp. and Amsouth Bancorporation *52 AmSouth Bank Branches with \$2.7 Billion in Deposits to be Divested in Alabama, Mississippi and Tennessee*

10 : Wednesday, August 25, 2004

Justice Department Reaches Agreement with Wachovia Requiring Divestitures in Wachovia/

Southtrust Merger *Divestitures Ensure That Banking Services In The Southeast United States Remain Competitive*

11 : Thursday, May 8, 2003

Justice Department Reaches Agreement with BB&T Requiring Divestitures in BB&T/FIRST Virginia Merger *Divestitures Ensure That Virginia Banking Services Remain Competitive*

12 : Monday, December 3, 2001

Justice Department Requires Suntrust Bank and Huntington National Bank to Make Divestitures in Florida

13 : Thursday, November 29, 2001

Justice Department Requires Wells Fargo and Company to Make Divestitures in Two States

14 : Thursday, July 26, 2001

Justice Department Requires First Union Corporation and Wachovia Corporation to Make Divestitures in Four States

15 : Thursday, March 8, 2001

Justice Department Requires Fifth Third Bancorp and Old Kent Financial Corporation to Make Divestitures in Michigan

16 : January 25, 2001

Justice Department Requires FleetBoston Financial Corp. and Summit Bancorp to Make Divestitures in Atlantic City, New Jersey

17 : Wednesday, October 18, 2000

Justice Department Requires Wells Fargo & Company and Brenton Banks Inc. to Make Divestitures in Des Moines, Iowa

18 : Thursday, September 14, 2000

Justice Department Requires Wells Fargo & Company and First Security Corporation to Make Security Corporation to Make Divestitures in Four States

19 : Tuesday, August 15, 2000

Justice Department Approves NBT Bancorp/BSB Bancorp Merger After Parties Agree to A Divestiture

20 : Wednesday, June 21, 2000

Justice Department Requires Old National Bank and Permanent Bank to Divest Two Branches in Evansville, Indiana

21 : Monday, May 22, 2000

Justice Department Requires Wells Fargo & Company to Divest Three Branches in Nebraska

22 : Monday, January 24, 2000

Justice Department Requires Divestitures in Centura Banks and Triangle Bancorp Merger  
Eighteen Branches in North Carolina Divested, Banking Services for Consumers, Small Businesses Remain Competitive

## 2 個別事例に見る事業譲渡（店舗譲渡）

### [2.1] Huntington Bancshares の FirstMerit の併合（2016年7月） ～店舗譲渡が行なわれた事例～

DOJは、2016年7月13日に、  
“Justice Department Requires Divestitures in Huntington Bancshares Incorporated's Acquisition of FirstMerit Corporation *Thirteen*

### *Branches in Northeast Ohio to Be Divested”*

というプレス・リリース (Justice News) を発出した。これは、統合 (Huntingtonによる FirstMerit の買収) に際して一部地域 (Northeast Ohio) における13店舗を分離することを条件に認可することを意味する。

Ohio州 Columbusに本拠を置くHuntington (Huntington National BankのBHC、資産730億ドル、750支店、1,500ATM) は、Ohio, Indiana, Kentucky, Michigan, Pennsylvania, West Virginiaで営業し、full-service commercial, small business, and consumer banking servicesのほか、mortgage banking to equipment leasingも行なう。FirstMeritはOhio州 AkronにあるFirstMerit BankのBHC (資産261億ドル、370支店、400ATM) で、Ohio, Illinois, Michigan, Pennsylvania and Wisconsinで営業し、large range of banking and other financial services to consumers and businessesを行なう。

反トラスト上の統合の条件は、営業テリトリーのうち、Northeastで13店舗 (預金7.378億ドル) を売却する (付表1。OhioのAshtabula Countyで2店舗、Stark Countyで11店舗) こととされた。これにより、HuntingtonはOhio州で最大となる。

DOJの発表は以上であるが、2016年7月29日のFedのプレス・リリース (FRB Order No.2016-13) において、“Order Approving the Merger of Bank Holding Companies” (BHC統合承認書) を添付している。

### 【Fedの統合承認書】

Fedの統合承認書は、銀行統合に関して、ほぼ定型的内容を採る。具体的には、統合申請の法的根拠、合併行のプロフィール (預金規模での全米レベル、各州レベルでの順位など)、統合による競争状況、経営状況、CRA対応 (地域貢献) などが検討される。

(付表 1) **Huntington-FirstMerit Branches to Be Divested**

Branch	State	County	Address	City	Zip
Park Avenue Branch	Ohio	Ashtabula	4200 Park Avenue	Ashtabula	44004
Jefferson Branch	Ohio	Ashtabula	22 West Jefferson Street	Jefferson	44047
Central Plaza Branch	Ohio	Stark	100 Central Plaza S	Canton	44702
Belden Village Branch	Ohio	Stark	4555 Belden Village Street NW	Canton	44718
Oakwood Square Branch	Ohio	Stark	6252 Middlebranch Avenue NE	Canton	44721
Hillsdale Branch	Ohio	Stark	2917 Whipple Avenue NW	Canton	44708
East 62 Branch	Ohio	Stark	3100 Atlantic Boulevard NE	Canton	44705
North Plaza Branch	Ohio	Stark	1100 30 <sup>th</sup> Street NW	Canton	44709
Locust Street Branch	Ohio	Stark	2150 Locust Street S	Canal Fulton	44614
Louisville Branch	Ohio	Stark	308 East Gorgas Street	Louisville	44641
Perry West Branch	Ohio	Stark	2704 Lincoln Way E	Massillon	44646
Foxboro Branch	Ohio	Stark	5594 Wales Avenue NW	Massillon	44646
Massillon Branch	Ohio	Stark	140 Lincoln Way W	Massillon	44647

〔当事行のプロフィール〕

- この案件で、両行のプロフィールは、
- ・Huntington は、全米第 40 位、Ohio 州第 3 位、Michigan 州第 6 位、Pennsylvania 州第 19 位である、
  - ・FirstMerit は、全米第 66 位、Ohio 州第 7 位、Michigan 州第 9 位、Pennsylvania 州第 127 位である、
  - ・統合後、Huntington は、全米第 34 位、Ohio 州第 1 位となる (Michigan 州第 6 位・Pennsylvania 州第 19 位は不変)、
- である。

〔競争状況〕

競争状況について、両行は Ohio, Michigan, Pennsylvania の 27 の市場で競合しており、この市場での競合行の数、預金のシェア、DOJ ガイドラインによる HHI の水準と増分を検討している。

- その結果、HHI 基準では、
- ・27 市場のうち、22 市場で DOJ ガイドラインに適合している、

- ・1 つの市場で集中度が高くなる、
  - ・8 つの市場で集中度が高いままである、
  - ・11 の市場でやや集中度が高い、
  - ・2 つの市場は競争状態である、
- で、いずれの市場でも HHI の増分は小さい。

統合の結果、構造的問題があるのは、Ohio の Akron, Ashland County, Ashtabula County, Canton および Michigan の Cadillac において、DOJ ガイドラインの閾値を越え、統合前でも預金市場シェアが 35% を超えていることである。

① Cadillac 市場 (店舗譲渡なし提案)<sup>11)</sup>

- ・Huntington は Cadillac 市場で預金シェア 1.4% (第 7 位)、FirstMerit は同じく 36.0% (第 1 位) で、統合後に 37.4% となり、Huntington は最大となる (HHI は 2,604 → 2,706、増分は 102)。シェア・HHI 共に DOJ 基準を逸脱しているが、HHI の増分基準には達していない。
- ・この市場には、有力な credit union が 3 つあり、これを考慮すると HHI の上昇は 2,346

に留まること、預金シェアも34.7%に留まること（credit unionの計数は50%で評価する。以下、同じ）。したがって、DOJ基準をクリアしている。

- ・さらに、5つの預金金融機関が競合先として残り、そのうち1つは25%のシェアを有すること。したがって、店舗譲渡措置は不要といえる。

② Ashland County 市場(店舗譲渡なし提案)<sup>12)</sup>

- ・ Hungtinton は Ashland County 市場で預金シェア17.1%（第2位）、FirstMeritは同じく13.4%（第4位）で、統合後に30.5%となり、Hungtintonは最大となる（HHIは1,422→1,880で、増分は458）。HHIでDOJ基準を逸脱している。
- ・ この市場には、有力なスリフトが2つあり、融資面などで商業銀行と同じ機能を果たしていること、また、3つのcredit unionが存在する。
- ・ スリフトの影響は100%、credit unionの影響は50%とカウントすると、預金シェアは27.35%、HHIは1,190→1,557（増分は367）の上昇に留まる。DOJ基準をクリアする。
- ・ この市場には6つの銀行が残り、そのうち4行で10%超のシェアを有する。したがって、店舗譲渡措置は不要といえる。

③ Akron 市場(店舗譲渡提案)<sup>13)</sup>

- ・ Hungtinton は Akron 市場で預金シェア6.7%（第5位）、FirstMeritは同じく33.7%（第1位）で、統合後に40.4%となり、Hungtintonは最大となる（HHIは1,691→2,141で、増分は450）。DOJ基準を逸脱している。
- ・ 競争制限対策として、Hungtintonは申請書で1店舗を譲渡するとした。
- ・ この市場には6つのスリフトと7つ

のcredit unionが存在すること。また、FirstMeritの本店には融資に使用できないout-of-marketの預金があること(wholesale/brokerd certificates, a master Money Market Account, collateralized public deposits, trust account deposits, out-of-market escrow deposits.これらは法律・契約等で銀行業務一般に使用できない)。このような預金が競合行にもあり、それらを控除し、店舗譲渡とスリフトとcredit unionの存在を勘案すると、統合後の預金シェアは38.0%、HHIは1,930（増分は382）の上昇に留まる。

- ・ この市場には27の競合行が残り、そのうち2行はそれぞれ12%超のシェアを有すること、ほかの2行はそれぞれ6%のシェアを有することから、Akron市場での競争は確保される。
- ・ さらに、Akron市場には新規参入（2015年に1行）があり、また2012年以降2行がM&Aで参入していること、既存の競合行が2015年に新規支店を開設しているなど、潜在的競合者にとって魅力的な市場である。

④ Canton 市場(店舗譲渡提案)<sup>14)</sup>

- ・ Hungtinton は Canton 市場で預金シェア27.1%（第1位）、FirstMeritは同じく23.2%（第2位）で、統合後に50.3%となり、Hungtintonは最大となる（HHIは1,660→2,918で、増分は1,258）。DOJ基準を逸脱する。
- ・ 競争制限対策として、Hungtintonは申請書で10店舗を譲渡するとした。
- ・ この市場には2つのスリフトと11のcredit unionが存在することと、out-of-marketの政府預金が存在すること、店舗譲渡などを勘案すると、統合後の預金シェアは36.4%、

HHIは1790（増分は351）の上昇に留まる。HHIがDOJ基準をクリアする。

- ・この市場には17の競合行があり、そのうち2行はそれぞれ10%程度の預金シェアを有する。
- ・さらに、Canton市場には新規参入（2011年以降に2行）があり、また2012年以降2行がM&Aで参入していること、既存の競合行2行が2011年以降に新規支店を開設しているなど、潜在的競合者にとって魅力的な市場である。

⑤ Ashtabula市場（店舗譲渡提案）

- ・HungtintonはAshtabula市場で預金シェア17.6%（第3位）、FirstMeritは同じく17.3%（第4位）で、統合後に34.9%となり、Hungtintonは最大となる（HHIは1,878→2,486で、増分は608）。HHIでDOJ基準を逸脱する。
- ・競争制限対策として、Hungtintonは申請書で2店舗を譲渡するとした。
- ・この市場には1つのスリフトと4つのcredit unionが存在することと、out-of-marketの政府預金が存在すること、店舗譲渡などを勘案すると、統合後の預金シェアは25.6%、HHIは1,741（増分は198）の上昇に留まる。DOJ基準をクリアする。
- ・この市場には6つの競合行があり、そのうち1行は25%超の預金シェアを有する。

〔競争条件に関する結論〕

27市場のうち、22市場は競争上問題ないが、5つの市場では統合前のシェア・HHIがDOJガイドライン上問題であった。そこで、申請では、3つの市場で店舗譲渡を行ない、DOJ基準をクリアすることとした。

DOJは、Akron, Ashtabula, Canton市場における店舗譲渡を伴う申請が競争に悪影響を与

えるものではないとした。これを受けてFedは競争および市場の集中に重要な悪影響を及ぼすものではないと結論付け、当該申請は競争上問題ないと決定した。

このように、競争状況については、HHI（レベルと増分）と市場シェアが勘案されるが、その際、銀行の市場だけでなく、スリフトやcredit unionも加味する点が重要で、競争相手として預金金融機関全てを考慮していることは注目される。

Fedの承認書では、財務等の検討も行なわれ、capital adequacy, asset quality, earnings performanceといった財務項目のほか、managementというCAMEL項目がチェックされ、とくに資本の健全性が重視される。この案件で、資本状況は良好とされ、統合後も同様とされた。Fedは検査報告のほか、経営評価・リスクマネジメントシステム・運用状況、コンプライアンス、消費者保護、マネーロンダリング対策などをチェックした上で、統合申請をチェックした。

〔地域貢献評価〕

Fedの審査の重要項目は“convenience and needs of the communities”という統合による地域への還元・貢献度の評価である。CRAでは、地域の信用ニーズにいかに対応しているか、とりわけ“low- and moderate-income (“LMI”) neighborhoods”に対する資金供与も問われる。

この点について、パブリックコメントの2つの異議申立を取り上げている。

- ・1つは、African AmericanやHispanicに対する住宅関連ローンが、両行とも著しく低いこと、non-Hispanic whitesに対する同種のローンに対しても著しく劣ることを指摘した。店舗の統廃合も公共利益に反し、とくにLMIに不利となるとした。

・もう1つは、FirstMeritが、現在提供している credit monitoring and a rewards program がなくなること、また統合により job losses に繋がること、Huntington のこの点に関する対応に疑義があることである。この意義申立てについての、当事行の回答として、広範なりテール業務等を展開しており、fair lending laws and regulations に準拠して業務を行ない、指摘のような差別化はないこと、店舗統廃合についても法令に準拠したルールによるものとしたことを、紹介している。

[CRA 評価]

“convenience and needs” を評価する上で、Fed は CRA に注目している<sup>15)</sup>。CRA は文書で確認されるが、統合審査では最新の評価が重要である。CRA では、①評価対象地域における住宅ローン・中小企業向けローン・消費者ローンの件数と金額、②貸出の地理的配分（評価地域での貸出の比率と分散、low-, moderate-, middle-, and upper-income geographies でのローンの件数と金額、③借入者特性に応じた住宅ローンなどの配分、low-, moderate-, middle- and upper-income individuals に対するローンの件数と金額、④地域開発融資の件数・金額と複雑さ・イノベーション性、⑤LMI individuals and geographies に対するイノベティブかつ弾力的な融資状況、が重視される。

Huntington は、OCC による CRA-rating が総合評価で“Satisfactory”である（January 1, 2012）<sup>16)</sup>。Lending Test では“Outstanding”、Investment Test and the Service Test では“High Satisfactory”で、OCC の検査官は当事行が週末を含む営業時間の延長、地域開発サービスでのカウンセリング・始めて住宅購入する者へのセミナーや住宅差押防止ワークショップ・LMI 住民に対する金融教育カウンセリングなど

を高評価している。

FirstMeri の OCC による CRA-rating は、総合評価で“Satisfactory”である（June 17, 2013）。Lending Test and Service Test は“High Satisfactory”、Investment Test は“Low Satisfactory”である。

Fed は、CRA 関連の記録、fair lending や消費者保護に関するコンプライアンスなどについて、パブリックコメントや、OCC・CFPB（消費者金融保護局）との協議などを踏まえ、convenience and needs に関する当事行の申請につき適正と判断した。

[Financial Stability]

Dodd-Frank Act において、M&A や統合による、銀行・金融システムの安定性に対する集中リスクの増大の影響を勘案することが Fed に求められる。この点に関し、この案件では、アメリカの銀行・金融システムの安定性に与える統合(集中)リスクが増大することはないと判断し、Fed としてこの申請と金融システムの安定性は整合的であると結論した。

[総合的な結論]

本申請案件は、以上の諸検討から、妥当なものと判断する。競争条件の検討にあるように13店舗は譲渡される。

Fed のこの案件に関する審査報告は以上のようなもので、競争状況以外にも、財務・経営評価・リスクマネジメントシステム・運用状況、コンプライアンス、消費者保護、マネーロンダリング対策、地域貢献、金融システム安定性など幅広く検討して、認可に至ることが分かる。

## [2.2] Commercial Bancgroup の Citizens Bank の併合(2017年12月) ~店舗譲渡なしの事例~

FRB の Press Release、December 18, 2017 に

よると、

“FRBはBHC法1956第3条に基く、Commercial Bancgroup（親会社のRobertson Holding Company, L.P., and Unified Shares, LLC, all of Harrogate, Tennessee）によるCitizens Bancorp, Inc. (“Citizens”の子会社のCitizens Bank, New Tazewell, Tennessee)の買収申請を認可した。FDIC法18(c) (Bank Merger Act) とFederal Reserve Act第9条に基づき、Commercial BankによるCitizens Bankの合併と、Citizens Bankの本支店所在地域での支店展開を認める。”

としている。

### 【Fedの承認書】

〔当事行のプロフィール〕

Commercialは全米第784位で、預金規模7.6億ドルで、Tennessee州では第42位である。Citizensは全米第3,001位で、預金規模1.8億ドルで、Tennessee州で第115位である。

統合後に、Commercialは全米第635位、資産規模11億ドル・預金規模9.4億ドルとなる。Tennessee州で、Commercialは第31位となり、預金規模6.8億ドルとなる。

〔競争状況〕

当事行は、Middlesboro Area, KY-TN-VA banking market (“Middlesboro market”) で競合状態にある (Middlesboro marketとは、Bell County, Kentucky, and Claiborne County, Tennessee; plus the towns of Rose Hill and Ewing in Lee County, Virginia)。Commercialは同市場での最大行で、預金規模2.8億ドル、22.7%のシェアである。Citizensは同市場で第5位、預金規模1.1億ドル、シェア12.6%である。統合後もCommercialは同市場最大で、預金規模3.9億ドル・シェア35.3%、HHIは1,626→2,167(増分571)であり、DOJ基準を逸脱している。ただし、預金シェア・HHIは当該市場の潜在的競争圧力

を十分反映していない。

というのは、当該市場は相対的に小規模でかつ農村エリアで、統合後も9つの競合行が存在する。そのうち1行は預金シェア20%超、2行はそれぞれ14%超、1行は5%超である。さらにcredit unionが2つ存在する。これらの存在により、当該市場で統合後も競争は維持され、統合後のCommercialが競争を阻害することはないとDOJは判断し、当事行の申請につきFedにその旨助言している。

Fedとしては、競合行の数や市場の特性などを勘案し、統合の申請はMiddlesboroを含む全地域で競争を阻害することはないと判断した。

このように、DOJガイドラインの基準に抵触する可能性があったが、DOJ・Fedは統合申請を認可したのである。

〔地域貢献：CRA評価〕

CRA-ratingで、Commercial Bankは連邦銀行による総合評価が“Satisfactory”で (September 21, 2015)、Lending Test・Community Development Testで“Satisfactory”の評価である。とくに、Tennessee州で預金・店舗・ローンが高い割合で、高評価された。検査官の評価では、評価地域での信用ニーズへの対応が良好で、銀行の規模・金融条件・評価地域の信用ニーズからして預貸率が高いこと、評価地域でのローンの地域的分布が優れ、様々な所得水準の個人や多様な規模の企業に浸透していることが示されている。また地域開発関連でも、その取組みが評価されること、とくに銀行のトップがLMI家族や小規模企業に対して多くの時間を当てていることを評価している。

Citizens Bankは総合評価が“Satisfactory”で (March 9, 2015)、Lending Test・Community Development Testで“Satisfactory”の評価であり、とくに小規模企業へのローンが高水準に

ある。

以上から、Fed は申請の地域貢献が基準に適合すると結論付けた。

このほかに財務状況のチェックなども踏まえ、Citizens Bank の営業エリアでの3つの新規店舗の設置も併せて認可された。

このように、DOJ ガイドラインの預金シェア 35% 基準・HHI1,800 超を逸脱するシェア 35.3%、HHI が 2,167 であっても店舗譲渡は統合の条件となっていない。むしろ3つの新規店舗設置が併せて認可されている。このように人口が 6.2 万人、人口密度 29.6 人/km<sup>2</sup>の農村部の小規模な市場で、その地域から店舗がなくなることや競合行の存在などを考慮して、統合が認可されたものと思料される。

## [2.3] Wachovia の事例

### 2-3-1) Wachovia の統合小史

Wachovia は、North Carolina 州の Winston-Salem に本拠を置く名門銀行であった。スーパーリージョナルバンクとして東部・南部からカリフォルニアに到る全米展開をしていたが、2009 年に Wells Fargo に買収され、2011 年に消滅した<sup>17)</sup>。

1986 年 12 月 12 日、First Atlanta を買収し、本社機能を 2 都市 (Winston-Salem と Atlanta) に置く体制となる。1998 年に Virginia 州の Jefferson National Bank と Central Fidelity Bank を買収、2000 年には Republic Security Bank を買収し、フロリダ州の営業網を獲得し、Connecticut 州から Texas 州までのスーパーリージョナルバンクになった。

その後、2001 年 6 月の Charlotte の First Union Corporation との統合、2004 年 8 月の Atlanta の SouthTrust との統合においては、店舗譲渡が行なわれた。

2001 年 4 月 16 日、First Union が Wachovia との経営統合を発表した (共同出資による対等合併) が、事実上 First Union による Wachovia の買収であった。この発表は金融関係者に大きな衝撃を与えた。Wachovia が 2000 年に経営危機に陥り、買収対象として見なされ始めた頃、Suntrust への統合いわゆる「タバコ・コーラ」合併の観測が強かったためである (これは、Wachovia がタバコメーカーと長年協力関係にあり<sup>18)</sup>、Suntrust がコカ・コーラ社の IPO 以来の大株主であることに由来する)。

この合併に対しては、各方面から批判の声も上がった。特にアナリストらは、First Union による Corestate 買収時の悪夢 (システムトラブルなど) が繰り返されることを恐れていた。Winston Salem の市民や政治家からは、地元の有力企業を買収されることによって、雇用面などで市にマイナス影響を及ぼすことを懸念していた。Winston-Salem が Charlotte に比較し極めて小規模の都市であり、新銀行の本社機能が Charlotte に集中することへの懸念があった。結局、First Union は、資産管理部門と Carolina 地区の本部を Winston-Salem に置くとしたことで対応したといわれる。

First Union と Wachovia の合併は成功し、新銀行の着実な戦略によって、かつてのような大規模な顧客離れは起きなかった。Wachovia は統合後、各種の顧客満足度調査において毎年第 1 位を獲得、同行株価も力強い上昇し、株主にも十分な利益還元を実現した。First Union が合併・買収を重ねて成長した、革新性・起業家精神を重んじる社風であったのに対し、Wachovia は優れたリテールサービスで知られ、この違いはそれぞれ強みとなって、補完機能を果たし、Wachovia の成長を支えた。

2004 年 11 月 1 日、Wachovia は Alabama

州 Birmingham に本拠を置く SouthTrust Corporation を 143 億ドルで買収し、米国東部で最大、全米でも第 4 位の資産規模を誇る銀行持株会社となった。店舗数では全米第 2 位であった。

Wachovia は、2001 年 6 月に First Union Corporation と、2004 年 8 月に SouthTrust と統合し、その際店舗譲渡が行なわれたが、2006 年 9 月の Golden West との統合では、店舗譲渡は行なわれていない。

### 2-3-2) SouthTrustの買収(2004年11月) ～店舗譲渡の例～

DOJ の 2004 年 8 月 25 日のプレス・リリースでは、DOJ が Wachovia の SouthTrust の買収に際し店舗譲渡を行なう申請に同意したとされている。この同意では、Wachovia は Florida と Georgia の 4 つの市場における 18 の SouthTrust の支店（預金規模計 5.9 億ドル）を譲渡するものとされた。

譲渡される SouthTrust の支店は以下の通り。

State - Market - County - Branch Name - Address - City

GA - Augusta RMA - Richmond - Daniel Village - 3007 Pine Needle Rd. - Augusta

GA - Augusta RMA - Richmond - Peach Orchard - 2756 Peach Orchard Rd. - Augusta

GA - Augusta RMA - Columbia - Belair Road - 404 S. Belair Rd. - Martinez

FL - Deland RMA - Volusia - Spring Garden - 900 N. Spring Garden Ave. - Deland

FL - Jacksonville RMA - Duval - 103rd Street - 6477 103rd St. - Jacksonville

FL - Jacksonville RMA - Duval - Loretto Road - 11683 San Jose Blvd. - Jacksonville

FL - Jacksonville RMA - Duval - Mandarin -

9716 San Jose Blvd. - Jacksonville

FL - Jacksonville RM - Duval - San Pablo -

14420 Beach Blvd. - Jacksonville

FL - Jacksonville RMA - Duval - San Jose -

6450 Old St. Augustine Rd. - Jacksonville

FL - Jacksonville RMA - Clay - Fleming at

Eagle Harbor 5000-70 Hwy. 17 S - Orange Park

FL - Jacksonville RMA - Clay - Orange Park -

311 Wells Crossing Blvd. - Orange Park

FL - Jacksonville RMA - St. Johns - Ponte

Vedra - 500 A1a N - Ponte Vedra Beach

FL - Jacksonville RMA - Duval - Merrill Road -

9125 Merrill Rd. - Jacksonville

FL - Lakeland RMA - Polk - Combee - 435 S.

Combee Rd. - Lakeland

FL - Lakeland RMA - Polk - Scott Lake - 1011 E.

County Line Rd. 54 - Lakeland

FL - Lakeland RMA - Polk - Interstate - 4012

Lakeland Hills Blvd. - Lakeland

FL - Lakeland RMA - Polk - Lakeland City

Center - 402 S. Kentucky Ave. - Lakeland

FL - Lakeland RMA - Polk - South Lakeland -

4421 S. Florida Ave. - Lakeland

### 【Fedの審査承認書】

これについての Fed の 2004 年 10 月 15 日付けの審査承認書は以下の通り。

[当事行のプロフィール]

Wachovia は、資産規模 4,180 億ドルで全米第 5 位、預金量は 2,510 億ドルで全米付保預金金融機関中のシェアは約 4% で、Connecticut, Delaware, Florida, Georgia, Maryland, New Jersey, New York, North Carolina, Pennsylvania, South Carolina, Virginia, District of Columbia をテリトリーとし、BHC 法による

ノンバンク事業により、ほぼ全米で営業展開している<sup>19)</sup>。

SouthTrust は資産規模 530 億ドルで、全米 25 位、預金量は 370 億ドル。Alabama, Florida, Georgia, Mississippi, North Carolina, South Carolina, Tennessee, Texas, Virginia がテリトリーである。

統合後、Wachovia は全米第 4 位になり、資産規模 4,710 億ドル・預金量 2,880 億ドルで、全米預金シェアは 4.6% となる。

〔競争状況〕

Wachovia・SouthTrust 傘下の預金金融機関は 5 州・41 市場で競争している。統合申請では、4 市場 (“divestiture markets”) において 18 の South Trust Bank 支店 (“divestiture branches”、預金量約 5.92 億ドル) 譲渡するものとしている。

Fed の前例および DOJ ガイドラインによると、35 市場は閾値以内である。HHI 基準では 3 市場が unconcentrated レベル、26 市場が moderately concentrated レベル、6 市場が highly concentrated レベルで、35 市場で多くの競合先が存在する。

残る 6 市場 (Jacksonville, Polk County, Daytona Beach, and Punta Gorda, all in Florida; Transylvania and Charlotte-Rock Hill, both in North Carolina) では、統合後の集中度が DOJ 基準、マーケットシェア基準が閾値を超えているが、以下の精査により適切と判断される。

#### ① Jacksonville (Florida) 市場

- ・Wachovia は同市場で第 2 位 (預金量 47 億ドル、預金シェア 31.1%)、SouthTrust は同じく第 4 位 (預金量 8.1 億ドル、預金シェア 5.4%) で、統合に際して SouthTrust の 9 支店・預金 2.75 億ドルを out-of-market 預金金融機関に譲渡する。その結果、

Wachovia は同市場で第 1 位となり (預金量 52 億ドル)、預金シェアは 34.8% となる。HHI は増分 210、2,416 以下である。

- ・同市場には 27 の競合行があり、第 2 位行は 30% のシェアと多くの支店を有し、他の競合行も 5% 以上のシェアを有する。
  - ・さらに、有力なスリフトが 1 つあり、これを勘案すると Wachovia のシェアは 34.7%、HHI は 2,397 以下となる (増分は 208)。加えて、6 つの credit union も存在する。credit union まで勘案するとシェアは 31.4% に、HHI は 2,022 以下となる (増分は 171)。→ DOJ 基準をクリアする。
  - ・2001 ~ 2002 年に同市場で 2 つの預金金融機関が新規参入したことで明らかのように、参入に魅力的な市場である。2001 ~ 2003 年にこの市場にある 5 つの郡 (County) では預金の伸び率は大都市郡部の伸びの 2 倍以上である。同時期の人口増加や 2003 年の 1 人当たり所得水準は Florida の都市部の平均を上回っている。
- #### ② Polk County (Florida) 市場
- ・Wachovia は、この市場で第 3 位 (預金量 9.5 億ドル)・預金シェア 17.1%、SouthTrust は第 5 位 (預金量 4.9 億ドル)・預金シェア 11.2%。
  - ・競争確保策として、5 支店・預金 9,500 万ドルを out-of-market の預金金融機関に譲渡する。その結果、同市場第 1 位、預金量 11 億ドル、預金シェア 26.2%、HHI は 1,841 (増分 270) となる。→ DOJ 基準をクリア。
  - ・統合後も、12 の競合行が残り、そのうち 2 行はそれぞれ 20% のシェアを持ち、うち 1 行は Wachovia 並みの支店網を有する。他の競合行には 10% 超のシェアのところもある。さらに、2001 年には新規参入行もあつ

た。

- ・この市場には2つの credit union があり、5.3%のシェアを持つ。これを勘案すると、Wachoviaのシェアは24.8%、HHIは1,673になる（増分は243）。→ DOJ 基準をクリア。

③ Daytona Beach (Florida) 市場

- ・この市場で Wachovia は第1位（預金量13億ドル）・シェア23.1%、SouthTrustは第5位（預金量4.1億ドル）・シェア7.2%。統合後の Wachovia の預金量は17億ドル・シェア30.3%で第1位、HHIは1880になる（増分は335）。→ DOJ 基準クリア。
- ・統合後に、19の預金金融機関が残り、第2位・第3位の競合行はそれぞれ20%のシェアと Wachovia 並みの支店網を有する。他の競合行には8%のシェアを持つ先もある。
- ・この市場には2001年に3行が新規参入しており、この市場内の2つの郡における人口増加率は2001～2003年のFlorida州都市部の平均を上回っており、参入に魅力のある市場といえる。

④ Punta Gorda (Florida) 市場

- ・この市場で Wachovia は第4位（預金量2.8億ドル）・シェア13.4%、SouthTrustは第3位（預金量3.4億ドル）・シェア16.1%。統合後の Wachovia の預金量は6.2億ドル・シェア29.4%で第1位に、HHIは1,872になる（増分は428）。→ DOJ 基準クリア。
- ・統合後に、11の預金金融機関が残り、第2位・第3位の競合行はそれぞれ22%・20%のシェアを有する。
- ・この市場には2001年に2行が新規参入しており、参入に魅力のある市場といえる。さらに、この市場の中心である2001～2003年のCharlotte Countyでの人口増加率は

Florida州の都市部のそれを上回っている。

④ Transylvania (North Carolina) 市場

- ・この市場で Wachovia は第3位（預金量7,300万ドル）・シェア14.9%、SouthTrustは第5位（預金量3,600万ドル）・シェア7.5%。統合後の Wachovia の預金量は1.1億ドル・シェア22.5%で第2位に、HHIは2,077になる（増分は224）。→ DOJ 基準クリア。
- ・統合後に、7の預金金融機関が残り、第2位・第3位の競合行はそれぞれ22%・20%のシェアを有する。この市場で第1位のライバル行のシェアは32.5%で、他の2行のシェアはそれぞれ17%・12%である。
- ・この市場には2001年に1行が参入した。2003年に1人当たり所得水準はNorth Carolinaの非都市部の平均を上回っており、2001～2003年6月に預金の伸びは非都市部の平均を3.5%ほど上回っていた。

⑤ Charlotte-Rock Hill (North Carolina) 市場

- ・この市場で Wachovia は第2位（預金量243億ドル）・シェア37.4%、SouthTrustは第7位（預金量5.4億ドル）。統合後の Wachovia の預金量は249億ドル・シェア38.2%で第2位に留まるも、HHIは3,853になる（増分は62）。→ DOJ 基準クリア。
- ・申請はDOJ基準をクリアするが、CharlotteにはWachoviaとBOA（Bank of America）というアメリカを代表する2大銀行の本拠がある点に注意を要する（BOAの預金シェアは約49%）。統合後の Wachovia のシェアの上昇は1%以下で、この市場には33の競合行が残る。
- ・この市場は2001年に3行が新規参入しており、魅力ある市場である。
- ・この市場はNorth Carolinaで最大の市場であり、その4つの郡での人口増加率は2001

～2003年に州の都市部の郡のそれを上回っている。さらに、2003年の1人当たり所得水準はNorth Carolinaの都市部のそれを上回っている。

- ・このように統合による著しく競争制限的な要因は見られない。

〔地域貢献関連〕

この統合に関して、約200のパブリックコメントが寄せられたが、そのうち約190はWachoviaとSouthTrustの地域開発機関への財務・技術的サポートや特定のプログラム・サービスについての良好な対応を評価したもので、統合に賛成している。

7つのパブコメはWachoviaないしSouthTrustの貸出に懸念を表している。またいくつかのパブコメには、マイノリティに対する住宅ローンに差別的扱いを禁じたHMDAに準拠したデータに疑義を呈している。さらに統合による店舗の閉鎖やサービスの低下に関して懸念を表している。

WachoviaのOCCによるCRA-ratingの総合評価は“outstanding”である(September 30, 2000。当時は、First Union National Bank, Charlotte, North Carolina (“FUNB”)としての評価)。この評価は、FUNBがOld Wachovia (Winston-Salem, North Carolina (“Old Wachovia Bank”))を統合する際のものである(この統合後、FUNBはWachoviaを銀行名にした)。Old Wachovia Bankは2000年12月31日付けでOCCによる最後のCRA-ratingを受け、総合評価は“satisfactory”であった。

FUNBはlending testで“outstanding”の評価を受け、検査官はFUNBの貸出水準は優良とした。FUNBは、398,000件超・370億ドルの住宅ローンを行ない、HMDAに準拠した地理的・借手の所得水準基準を十分充足してい

た。また、小規模企業に62,500件・78億ドルのローンを組成し、LMI地域でも積極的に対応し、とくに小額ローンにも対応していた(10万ドル以下の小額ローンがPennsylvaniaで69%、Washington, D.C.で75%であった)。地域開発融資でも21の評価対象地域のうち19で高評価であった(410件・12.4億ドルの融資(affordable housing projects))。

investment testの評価は“outstanding”で、7,300件・6.47億ドルの地域開発投資を実施した(CDFIとSBICへの資本投資を含む。Affordable housing, community revitalization and stabilizationやLMIの雇用創出プログラムなど)。

service testの評価は、“high satisfactory”であった(店舗の適正配置など)。FUNBは“eCommunities First” initiativeを主導し、15の地域機関との間で約2,000のパートナーシップを締結し、LMIコミュニティ・シニア層・学生に向けたコンピューター教育・金融リテラシー教育を実施した。

Old Wachovia Bankは、総合評価で“outstanding”、lending testで“outstanding”で、innovative and flexible loan productsを提供し、SBA (Small Business Administration)のPreferred Lender (in North and South Carolina)として中小企業融資に専心していた(41,775件・40億ドルの小規模企業・農家向け融資)。investment testは“outstanding”、service testは“high satisfactory”であった。

SouthTrust<sup>1</sup>は、2003年5月5日にFRB of Atlantaから総合評価で“satisfactory”を受けている。Lending testでは“high satisfactory”、investment testでは“outstanding”、service testでは“high satisfactory”であった。

2人のパブコメでは、店舗が130～150程度統廃合になることに懸念を示しているが、当分行はLMIでは店舗の削減は行なわないとしてい

る。

以上から、Fedは当事行の営業地域における信用ニーズに積極的に対応し、CRAでも基準を満たしているものと判断した。

〔結論〕

店舗譲渡を伴う当事行の申請について、Fedは以上の考察および財務状況等を考慮した結果、承認とした。

### 2-3-3) Golden Westの買収

～店舗譲渡なしの例～

Wachoviaは、Golden West Financial Corporation (“Golden West”), Oakland, Californiaの買収申請を行ない、2006年9月29日にFedから認可された。Golden Westは、スリフトであるWorld Savings Bank, FSB (“World Savings”), Oakland, CaliforniaとWorld Savings Bank, FSB (Texas) (“World Savings-TX”), Houston, Texasを傘下に有する。

#### 【Fedの承認書】

〔当事行のプロフィール〕

Wachoviaは、2006年当時、資産規模5,536億ドルで全米第3位、預金量は3,087億ドルで全米付保預金金融機関中のシェアは約4.8%である(2004年当時は第5位)。傘下にWachovia BankとWachovia Bank-DEを有し、16州とWashington, D.C.で営業展開している(詳細は前述)。

Golden Westは、資産規模1,288億ドル・全米第10位の預金金融機関で、預金量は626億ドル。

統合により、Wachoviaは全米第3位のままで、資産規模6,824億ドル・預金量3,710億ドルで、全米5.8%の預金シェアとなる。

〔競争状況〕

当事行の活動地域(California, Florida, New

Jersey, New York, Texas)で26の市場で競争している。このうち24市場でDOJガイドラインのHHI基準の閾値内にあり、3市場はunconcentrated、20市場でmoderately concentrated、1市場でhighly concentratedで、多くの競合先が存在する。

#### ① Punta Gorda (Florida) 市場

・この市場でWachoviaは第1位(預金量7.8億ドル)・シェア25.5%、Golden Westは第8位(預金量1.84億ドル)・シェア3%。統合後のWachoviaの預金量は9.64億ドル・シェア30.6%で第1位に留まるも、HHIは1,836になる(増分は222)。→DOJ基準クリア。

・HHI基準ではこの市場の集中度は高まっているが、潜在的な競争制限的要素を過大に見ている。申請はDOJ基準をクリアするが、この市場には14行が競合先として残る。そのうち、第2位・第3位行の預金シェアはそれぞれ21%・16%であり、有力な競合先である。

・この市場は2005年に2行が新規参入しており、魅力ある市場である。2002～2005年のこの市場の預金の平均伸び率は州全体のそれを上回り、かつFloridaの都市部のそれを上回っている。この市場の人口増加率も州及び都市部のそれよりも高い。

#### ② Indian Diver County (Florida) 市場

・この市場でWachoviaは第1位(預金量10億ドル)・シェア30.5%、Golden Westは第7位(預金量3.68億ドル)・シェア5.6%。統合後のWachoviaの預金量は14億ドル・シェア39.4%で第1位に留まるも、HHIは2014になる(増分は538)。

・HHI基準ではこの市場の集中度は高まっているが、潜在的な競争制限的要素を過大に

(付表 2) 各市場の競争度 (HHI)

Other Wachovia/Golden West Banking Markets and Market Data						
Data are as of June 30, 2005. All amounts of deposits are unweighted. All rankings, market deposit shares, and HHIs are based on thrift deposits, including those controlled by Golden West, weighted at 50 percent pre-consummation, but with Golden West's deposits weighted at 100 percent in the post-consummation figures.*						
* Data for the Punta Gorda Area and Indian River County banking markets are discussed in the order.						
Florida Banking Markets						
<b>Beverly Hills Area</b> – Citrus County excluding the town of Citrus Springs.						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
<i>Wachovia Pre-Consummation</i>	8	\$61.3 mil.	3.2	1478	- 25	12
<i>Golden West</i>	7	\$124.8 mil.	3.2			
<i>Wachovia Post-Consummation</i>	5	\$186.1 mil.	9.3			
<b>Brevard County</b> – Brevard County.						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
<i>Wachovia Pre-Consummation</i>	1	\$1.7 bil.	26.6	1559	+ 83	19
<i>Golden West</i>	16	\$138 mil.	1.1			
<i>Wachovia Post-Consummation</i>	1	\$1.8 bil.	28.5			
<b>Daytona Beach Area</b> – Flagler County; the towns of Allandale, Daytona Beach, Daytona Beach Shores, Edgewater, Holly Hill, New Smyrna Beach, Ormond Beach, Ormond-by-the-Sea, Pierson, Port Orange, and South Daytona in Volusia County; and the town of Astor in Lake County.						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
<i>Wachovia Pre-Consummation</i>	1	\$1.8 bil.	25.5	1667	+ 68	22
<i>Golden West</i>	13	\$132.4 mil.	1.0			
<i>Wachovia Post-Consummation</i>	1	\$1.9 bil.	27.1			
<b>Fort Myers Area</b> – Lee County, excluding Gasparilla Island, and the town of Immokalee in Collier County.						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
<i>Wachovia Pre-Consummation</i>	2	\$1.9 bil.	18.1	1191	+ 89	32
<i>Golden West</i>	15	\$346.9 mil.	1.7			
<i>Wachovia Post-Consummation</i>	1	\$2.2 bil.	21.1			
<b>Fort Pierce Area</b> – St. Lucie County and Martin County, excluding the towns of Indiantown and Hobe Sound.						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
<i>Wachovia Pre-Consummation</i>	5	\$748.3 mil.	11.9	1425	+ 101	18
<i>Golden West</i>	8	\$437.6 mil.	3.5			
<i>Wachovia Post-Consummation</i>	2	\$1.2 bil.	18.2			
<b>Fort Walton Beach Area</b> – Okaloosa and Walton Counties and the town of Ponce de Leon in Holmes County.						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
<i>Wachovia Pre-Consummation</i>	8	\$198.8 mil.	4.7	999	+ 2	23
<i>Golden West</i>	17	\$91.4 mil.	1.1			
<i>Wachovia Post-Consummation</i>	5	\$290.2 mil.	6.7			
<b>Miami-Fort Lauderdale Area</b> – Broward and Dade Counties.						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
<i>Wachovia Pre-Consummation</i>	2	\$18 bil.	18.9	1048	+ 48	97
<i>Golden West</i>	20	\$1.6 bil.	0.8			
<i>Wachovia Post-Consummation</i>	2	\$19.6 bil.	20.4			

<b>Naples Area – Collier County, excluding the town of Immokalee.</b>						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
<i>Wachovia Pre-Consummation</i>	3	\$1.2 bil.	13.3	1250	+50	34
<i>Golden West</i>	12	\$281.4 mil.	1.5			
<i>Wachovia Post-Consummation</i>	3	\$1.5 bil.	16.1			
<b>North Lake/Sumter Area – Sumter and Lake Counties, excluding the census-designated place of Astor and the cities of Clermont, and Groveland, all in Lake County.</b>						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
<i>Wachovia Pre-Consummation</i>	4	\$461.9 mil.	12.3	1408	+ 51	15
<i>Golden West</i>	10	\$145.8 mil.	1.9			
<i>Wachovia Post-Consummation</i>	3	\$607.7 mil.	15.8			
<b>Ocala Area – Marion County and the town of Citrus Springs in Citrus County.</b>						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
<i>Wachovia Pre-Consummation</i>	4	\$601.3 mil.	14.3	1463	+ 86	20
<i>Golden West</i>	9	\$207 mil.	2.5			
<i>Wachovia Post-Consummation</i>	2	\$808.3 mil.	18.8			
<b>Sarasota Area – Manatee and Sarasota Counties, excluding that portion of Sarasota County that is both east of the Myakka River and south of Interstate 75 (currently the towns of Northport and Port Charlotte); and the peninsular portion of Charlotte County west of the Myakka River (currently the towns of Englewood, Englewood Beach, New Point Comfort, Grove City, Cape Haze, Rotonda, Rotonda West and Placido), and Gasparilla Island (the town of Boca Grande) in Lee County.</b>						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
<i>Wachovia Pre-Consummation</i>	2	\$2.4 bil.	15.4	1305	+ 123	43
<i>Golden West</i>	8	\$873.6 mil.	2.8			
<i>Wachovia Post-Consummation</i>	2	\$3.3 bil.	20.5			

<b>Tampa Bay Area – Hernando, Hillsborough, Pinellas, and Pasco Counties.</b>						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
<i>Wachovia Pre-Consummation</i>	2	\$7.6 bil.	18.9	1540	+ 109	65
<i>Golden West</i>	7	\$1.7 bil.	2.1			
<i>Wachovia Post-Consummation</i>	2	\$9.3 bil.	22.7			
<b>West Palm Beach Area – Palm Beach County east of Loxahatchee and the towns of Indiantown and Hobe Sound in Martin County.</b>						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
<i>Wachovia Pre-Consummation</i>	1	\$7.4 bil.	26.8	1697	+ 306	62
<i>Golden West</i>	7	\$2 bil.	3.7			
<i>Wachovia Post-Consummation</i>	1	\$9.5 bil.	32.9			
<b>Texas Banking Markets</b>						
<b>Austin – The Austin MSA (Bastrop, Caldwell, Hays, Travis, and Williamson Counties).</b>						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
<i>Wachovia Pre-Consummation</i>	41	\$23.9 mil.	0.2	1079	- 26	62
<i>Golden West</i>	11	\$464.8 mil.	1.6			
<i>Wachovia Post-Consummation</i>	7	\$488.7 mil.	3.2			

<b>Dallas – Dallas County; the southeastern quadrant of Denton County (including the cities of Denton and Lewisville); the southwestern quadrant of Collin County (including the towns of McKinney and Plano); Rockwall County; the communities of Forney and Terrell in Kaufman County; and the towns of Midlothian, Waxahachie, and Ferris in Ellis County.</b>						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
<i>Wachovia Pre-Consummation</i>	24	\$397.8 mil.	0.6	1398	- 19	121
<i>Golden West</i>	19	\$1 bil.	0.8			
<i>Wachovia Post-Consummation</i>	6	\$1.4 bil.	2.3			
<b>Fort Worth – The Fort Worth–Arlington Metropolitan Division (Tarrant, Johnson, Parker, and Wise Counties).</b>						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
<i>Wachovia Pre-Consummation</i>	16	\$159.7 mil.	1.1	978	- 7	61
<i>Golden West</i>	28	\$155.4 mil.	0.5			
<i>Wachovia Post-Consummation</i>	8	\$315.1 mil.	2.1			
<b>Houston – The Houston–Sugar Land–Baytown MSA, (Austin, Brazoria, Chambers, Fort Bend, Galveston, Harris, Liberty, Montgomery, San Jacinto, and Waller Counties).</b>						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
<i>Wachovia Pre-Consummation</i>	19	\$621.6 mil.	0.7	2302	- 63	85
<i>Golden West</i>	11	\$3 bil.	1.6			
<i>Wachovia Post-Consummation</i>	5	\$3.6 bil.	3.9			
<b>San Antonio – Bexar, Comal, Guadalupe, Kendall, and Wilson Counties.</b>						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
<i>Wachovia Pre-Consummation</i>	14	\$149.9 mil.	1.0	1358	- 12	45
<i>Golden West</i>	20	\$166.8 mil.	0.6			
<i>Wachovia Post-Consummation</i>	9	\$316.7 mil.	2.1			

<b>California Banking Markets</b>						
<b>Hesperia-Apple Valley-Victorville – The Hesperia-Apple Valley-Victorville RMA; the city of Helendale, the community of Lucerne Valley, the town of Phelan, and the census-designated place of Wrightwood, all in San Bernadino County.</b>						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
<i>Wachovia Pre-Consummation</i>	9	\$66.3 mil.	3.5	1374	- 2	13
<i>Golden West</i>	7	\$169.8 mil.	4.5			
<i>Wachovia Post-Consummation</i>	4	\$236.2 mil.	12.0			
<b>Los Angeles – The Los Angeles RMA; the town of Acton in Los Angeles County; and the census-designated place of Rosamond in Kern County.</b>						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
<i>Wachovia Pre-Consummation</i>	24	\$2 bil.	0.8	887	- 17	153
<i>Golden West</i>	11	\$9 bil.	1.9			
<i>Wachovia Post-Consummation</i>	6	\$11 bil.	4.4			
<b>Riverside-San Bernadino – The Riverside-San Bernadino Metropolitan Area, including the Riverside-San Bernadino RMA and the towns of Banning, Beaumont, and Nuevo in Riverside County.</b>						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
<i>Wachovia Pre-Consummation</i>	23	\$60.5 mil.	0.5	1556	- 25	36
<i>Golden West</i>	14	\$216.8 mil.	0.9			
<i>Wachovia Post-Consummation</i>	11	\$277.3 mil.	2.4			

San Diego – The San Diego RMA and the towns of Camp Pendleton and Pine Valley in San Diego County.						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
Wachovia Pre-Consummation	19	\$214.5 mil.	0.5	1072	- 28	66
Golden West	10	\$1.7 bil.	2.1			
Wachovia Post-Consummation	8	\$1.9 bil.	4.6			
Banking Markets in Connecticut, New Jersey, New York, and Pennsylvania						
Metropolitan New York-New Jersey – Bronx, Dutchess, Kings, Nassau, New York, Orange, Putnam, Queens, Richmond, Rockland, Suffolk, Sullivan, Ulster and Westchester Counties all in New York; Bergen, Essex, Hudson, Hunterdon, Middlesex, Monmouth, Morris, Ocean, Passaic, Somerset, Sussex, Union, and Warren Counties and the northern portions of Mercer County, all in New Jersey; Monroe and Pike County in Pennsylvania; Fairfield County and portions of Litchfield and New Haven Counties in Connecticut.						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
Wachovia Pre-Consummation	6	\$32.9 bil.	4.4	1212	+ 2	282
Golden West	39	\$2.8 bil.	0.2			
Wachovia Post-Consummation	6	\$35.5 bil.	4.8			
Philadelphia/South Jersey – Burlington, Camden, Gloucester, and Salem Counties, all in New Jersey; and Bucks, Chester, Delaware, Montgomery Counties, all in Pennsylvania.						
	Rank	Amount of Deposits	Market Deposit Shares (%)	Resulting HHI	Change in HHI	Remaining Number of Competitors
Wachovia Pre-Consummation	1	\$20.9 bil.	22.5	1064	+ 5	120
Golden West	82	\$123.2 mil.	0.1			
Wachovia Post-Consummation	1	\$21 bil.	22.6			

見ている。この市場には14の預金金融機関が残り、そのうち第2位・第3位行は預金シェアはそれぞれ12%程度で、有力である。

- ・この市場には、Indian River Federal Union ("Indian River FCU") という預金量5,700万ドルのcredit unionがある。Wachoviaは"Indian River FCU"を勧案した17預金金融機関のうち最大で30.2%のシェア、Golden Westは第7位で5.5%のシェアで、統合後のWachoviaのシェアは預金量14億ドル・シェア39.1%、HHIは2,009(増分530)となる。
- ・さらに、2005年6月以降、新規参入行が2つあり、魅力的な市場であること。2002～2005年にこの市場の預金の平均増加率はFloridaの都市部および全米・Florida州全体のそれを上回っている。この市場の1人当たり所得増加率も同様である。

以上の状況から、Fedは2市場の競争状況および他市場の競争状況につき問題はないと結論付けた。

[CRA]

Wachovia BankのCRA-ratingは、2003年6月30日付けのOCCの総合評価で"outstanding"で、Wachovia Savingsの2005年8月15日付けのOTSの総合評価で"outstanding"である。検査官はWachovia Bankのlending test・investment test・service testの評価を"outstanding"ないし"high satisfactory"と評価した。(WachoviaのCRAに関しては3-3-2)を参照)

その他の要素も加味し、Fedは地域貢献について問題なしと判定した。

[統合に関する結論]

財務状況等も加味した上で、Fedは本申請を認可した。

#### 2-3-4) 2 事例から見る統合

Wachovia は、前述のように、スーパーリージョナルバンクとして全米規模で展開する中で、統合・合併を繰り返し、規模および営業地域を拡大してきた。いわゆる銀行持株会社（BHC）なので、法制的にもクリアすべき課題が多く、その内容は多岐かつ複雑である。

店舗譲渡を行なう場合でも、その判断は州レベル全般についてのものではなく、州を幾つかに分割し、多くは郡（County）レベルないし複数の郡レベルで、競争状況を判断する市場を設定する。その個々の市場における競争状況・レベルについて、前述の DOJ ガイドラインの基準に照らして、統合後の HHI および預金のマーケットシェアをチェックすることで、競争度（集中度）を判断する。

Wachovia の店舗譲渡提案を含む申請および店舗譲渡を伴わない申請についても同様である。2006 年の Golden West との統合において、DOJ ガイドラインの基準を充足していない場合にも申請が認可されていることは注目される。すなわち、Florida の Indian Diver County 市場で、統合後の Wachovia の預金量は 14 億ドル・シェア 39.4% になり、HHI も 2,014 になって（増分は 538）、DOJ 基準はクリアされない。それでも申請が認可されたのは、HHI 基準で見た市場の集中度が高まっても、その他の潜在的な競争制限的要素を過大評価する可能性があるからである。Indian Diver County 市場には、14 の預金金融機関（銀行）が残り、そのうち第 2 位・第 3 位行の預金シェアはそれぞれ 12% 程度で、有力な競合先である。さらに、Indian River Federal Union ("Indian River FCU") という預金量の比較的大きな (5,700 万ドルの) credit union が存在する。"Indian River FCU" を勘案した 17 預金金融機関で考慮した場合に、統合後の Wachovia

のシェアは預金量 14 億ドル・シェア 39.1%、HHI は 2,009（増分 530）となって、これでも DOJ 基準をクリアしない。

そこで競争促進要因として、新規参入の状況も考慮し、2005 年 6 月以降新規参入行が 2 つ存在すること、2002～2005 年にこの市場の預金の平均増加率・1 人当たり所得増加率は Florida の都市部および全米・Florida 州全体のそれを上回っており、市場として魅力的であることから、競争状況が確保されるので、Fed は申請を認可したのである。

このように、競争状況といっても、商業銀行だけの HHI やシェアに加え、広義のスリフトを加えた HHI やシェアを考慮するだけでなく、市場での参入状況・実現性、市場としての発展性をも判断して、認可に至ることは注目すべきである。

#### 【注】

1) 『2017 事務年度金融行政方針』（2017 年 11 月）では、地域金融に関し、①現在、バランスシートの健全性に問題はないが、ビジネスモデルの持続可能性等に深刻な課題を抱えている金融機関に対して、どのように早急に対応すべきか（どのような経営状況になった場合に、どのような監督対応をすべきか）、②ビジネスモデルの持続可能性を高める経営戦略上の有力な選択肢として、顧客との「共通価値の創造」を目指すビジネスモデルへの転換が考えられるが、これを実現するため、地域金融機関及び監督当局は具体的に何に取り組むべきか（金融仲介を客観的に評価できる共通の指標群（KPI）の策定など）、③人口減少等による金融サービスの供給者の減少が将来予想される中、将来にわたって金融機関の健全性と金融仲介機能の発揮を両立させるために、地域経済や地域の企業・住民の立場から最適な政策は何か、という課

題が示された。

- 2) 日本銀行『金融システムレポート』2018年4月に「人口や企業数が継続的に減少するという慢性ストレスを考慮すると」(p.1、52)という表現がある。
- 3) 公正取引委員会「企業結合審査に関する独占禁止法の運用指針」(2004年5月、直近は2011年6月改定)の「第6 競争の実質的制限を解消する措置」の「1 基本的な考え方」は「問題解消措置」について「企業結合が一定の取引分野における競争を実質的に制限することとなる場合においても、当事会社が一定の適切な措置を講じることにより、その問題を解消することができる場合がある(以下、このような措置を「問題解消措置」という)」と規定している。また「問題解消措置としてどのような措置が適切かは、個々の企業結合に応じて、個別具体的に検討されるべきものであるが、問題解消措置は、事業譲渡等構造的な措置が原則であり、当事会社グループが価格等のある程度自由に左右することができないように、企業結合によって失われる競争を回復することができるものが基本となる。ただし、技術革新等により市場構造の変動が激しい市場においては、一定の行動に関する措置を採ることが妥当な場合も考えられる。」とする。
- 4) 2007年3月28日の「運用指針」の改正では、SNNIPテストが明記され、「一定の取引分野(第2)1 一定の取引分野の画定の基本的考え方(第2-1)」で「一定の取引分野とは、企業結合により競争が制限されることとなるか否かを判断するための範囲を示すものであり、需要者からみた代替性の観点から判断されることを基本とし、必要に応じて供給者にとっての代替性という観点から判断される」旨を明確化した。また、需要者にとっての代替性をみるに当たっては、ある商品のある地域で独占して供給している事業者の存在を仮定

し、当該事業者が利潤最大化を図る目的で、小幅ではあるが、実質的かつ一時的ではない価格引上げ(目安として5%から10%程度)をした場合に、需要者が当該商品の購入を他の商品又は地域に振り替える程度を考慮することを明記した。

「3 地理的範囲(第2-3)」については「地理的範囲については、商品の範囲と同様に、まず、需要者からみた各地域で供給される商品の代替性という観点から判断されること、その代替性の程度は、需要者及び供給者の行動や当該商品の輸送に係る問題の有無等から判断できることが多い旨を示した。また、内外の需要者が内外の供給者を差別することなく取引を行っているような場合には、国境を越えて地理的範囲が画定されることもある旨を明確化した。」

そして、「水平型企業による競争の実質的制限(第4)」では、「1 基本的考え方(第4-1(3))」で「企業結合審査においては、市場の構造的な変化に着目することが肝要であるところ、競争を実質的に制限することとなるとは通常考えられない水準(セーフ・ハーバー)を示す指標について、市場全体の構造を表す指標として適切と考えられるHHI及びその増分を用いることとした。その具体的な水準については、過去の審査実績に照らして検討した結果、以下の(1)~(3)のいずれかを満たす場合とした。また、単独行動及び協調的行動の双方の分析に適用されるものとした。

- (1) HHI 1,500 以下
  - (2) HHI 1,500 超 2,500 以下かつ HHI 増分 250 以下
  - (3) HHI 2,500 超かつ HHI 増分 150 以下
- また、セーフ・ハーバーに該当しない場合には、個別の審査を要するものの、過去の審査実績に照らせば HHI 2,500 以下かつ市場シェア 35% 以下の場合には競争を実質的に制限することとなるおそれが小さい旨を記載することとした。」

5) 業務連携の成功例として、TRI-Bankがある。これは神奈川県で金融自由化に伴う競争の激化等に対応するため、1990年9月に三浦信用金庫（現かながわ信用金庫）、平塚信用金庫、小田原信用金庫（現さがみ信用金庫）が、地域内住民及び中小企業等のニーズを満たす地域金融機関としての経営理念を尊重し、それぞれの独立性を堅持しつつ、スケールメリット及びコンセントレーションメリットを享受する新たな方法として、信用金庫業界初となる本格的な業務提携を行なったものである。県東部に店舗網を展開する三浦信用金庫、県中部に店舗網を展開する平塚信用金庫、県西部に店舗網を展開する小田原信用金庫が業務提携をしたことで、神奈川県全域をほぼ網羅する提携グループとなった。業務提携から約2年後の1992年9月にGI（グループ・アイデンティティ）を導入し、提携グループの呼称を「TRiBank（トライバンク）」に決定し、共通のデザインやキャラクターを定めた。TRiBankのTRIは「3」を表す言葉で、三金庫の共栄という基本方針とともに、提携により「お客さま」、「信用金庫」、「職員」の共栄を実現したいという願いが込められた。また、TRIは「鳥」とも読めることから、共通のデザインやキャラクター等については鳥をモチーフにしたものを採用した。① TRiBankの浸透（3金庫の各店舗やATMにはTRiBankのロゴを表示し、3金庫の職員が表面にはGIに基づいたTRiBankのロゴとカモヤカワセミなどのイラストを配し、裏面にはTRiBankのコンセプトを表示した共通デザインの名刺を使用することで、TRiBankグループをアピール、②スケールメリットの享受（ポスター及びカレンダー等、配布する各種媒体について、共同作成により、コストを削減。また、10周年、20周年を記念して実施したラジオCM（10周年）、電車中吊り広告（20周年）では、費用を三金庫で按分することで、各金庫の負担を軽減し

た、より効果的な宣伝活動を実施、③お客さまの課題解決への連携（信金中央金庫と連携し、3金庫の取引先と小田急百貨店及び小田急商事（小田急OXストア）との、食をテーマとした「3金庫合同個別商談会」を2011年に実施（2013年より県内8信金合同での商談会に拡大）。また案件の特性に合わせ、3金庫の協力関係に基づく協調融資を実施し、顧客の課題解決に係る連携を展開、④人事交流（業務提携を活用していくために、3金庫の役員各2名の合計6名で構成する「業務提携委員会」を設置し、業務別に専門部会を組織。委員会・部会については定期的に開催し、情報交換を実施。相互に胸襟を開いて気兼ねなく相談できる関係が醸成され、担当者間でも日頃から情報交換を実施。また、3金庫役員を含めた管理者を対象としたコンプライアンスセミナー、入庫4年目の中堅職員を対象としたキャリアアップ研修、入庫1年目の職員を対象とした新入職員研修など、階層別の研修について合同で実施。同世代の他金庫の職員と合同で研修を行なうことで、視野を広げる機会となっている）、⑤お客さまの利便性の向上（3金庫相互間での窓口振込手数料及びATM手数料を自金庫扱いと同様にする割引サービスを実施し（日曜日の入金を除く。県全域をほぼ網羅、利便性を確保）、⑥地域貢献活動（2009年8月には「TRiBankエコプロジェクト」を発足し、合同での海岸清掃や環境に配慮した金融商品及びサービスの提供を通じて、地域金融機関として環境問題に積極的に取り組む。毎年9月に3金庫それぞれのエリアで海岸等の清掃ボランティア活動をはじめ、3金庫定期預金合同キャンペーンでは県の環境保全団体等へ寄附を行ない、スケールメリットを活用できた取組みとした）、といった実績がある。人口の減少、少子高齢化を要因とした経済規模拡大の鈍化、中心市街地や地場産業の疲弊、事業所数の減少に加えて、リテール分野

での金融機関の競争の激化などの中、業務提携の重要度は益々高まっており、「今後も3金庫の経営理念や独立性を尊重しながら、業務提携を通じて地域の方々及び中小企業のニーズに対応し、地域とともに持続的な発展を続けていきたい」(平塚信金 HP) としている。

- 6) 川濱昇ほか[2008]によると、「構造的問題解消措置としては、①事業譲渡、議決権処分・株式保有比率引下げ等、②競争者強化のための諸措置(長期的供給契約等)、③新規参入・輸入促進のための措置等」(pp.244～254)があり、「行動的問題解消措置としては、①事業活動実施上の独立性維持、情報遮断措置等、②差別的取り扱い禁止による閉鎖性・排他性問題の防止、③市場支配力不行使の確約」(pp.254～259)がある。
- 7) アメリカの銀行監督は、通貨監督庁(OCC。連邦法(国法)免許を受けて営業する国法銀行(National bank)の監督。以前はスリフトの監督はOTS(Office of Thrift Supervision)が行っていたが、ドッド=フランク法によりOCCに統合され、OTSは2011年7月に消滅した)、連邦準備(FedないしFRBといい、狭義には連邦準備銀行理事会を指すが、12の連邦準備銀行を指すこともある。FRS(Federal Reserve System)と呼称して連邦準備制度そのものを指すこともある。連邦準備制度加盟金融機関を監督)、FDIC(連邦預金保険公社)、州銀行局(州法免許の銀行(State bank)の監督)によって行なわれている。連邦預金保険に加入している銀行を監督するFDIC統計の銀行数が最も多いので、ここではFDICの統計を用いる。因みに、2007年にOCC監督銀行数は912、Fedのそれは1,816プラス152(マイノリティ保有銀行)。
- 8) スリフト(Thrift Institution)は主に個人からの預金を集め、個人向けの各種ローン(住宅ローン、消費者ローンなど)に融資する金融機

関で、Savings and Loan association(SLAないしS&L)、Mutual Savings Bankを指す。Credit Unionを含むこともある。

- 9) ある産業の市場における企業の競争状態を表す指標の一つ。その産業に属する全ての企業の市場占有率の2乗和と定義される。HHIは独占状態においては1(数値に%表示のものをを用いるときには10,000)となり、競争が広く行き渡るほど0に近づく。寡占度指数とも呼ばれる。例えば、2社による寡占状態であり、市場占有率がともに50%である場合、HHIは $2 \times 0.5^2 = 0.5$ となり、100社の市場占有率が全て1%ずつである場合、HHIは $100 \times 0.01^2 = 0.01$ となる。一般にn社が全て同規模であればHHIは $1/n$ となる。
- 10) Fedの銀行統合のFAQsの(4)には、(i) M&AはHHIの増分が200以上ないしHHIの水準が1,800超になる場合、ないし、(ii) 統合後の市場シェアが35%以上になる場合、に審査されると記されている(<https://www.federalreserve.gov/bankinforeg/competitive-effects-mergers-acquisitions-faqs.htm#faq16>)。(i)はDOJ基準、(ii)はFed基準である。Fedは預金規模5,000万ドル以下の小規模金融機関の場合、統合後の市場シェア基準を40%以上としている(FRB of Kansas City。統合後HHIでは2,000超で増分400以上ないし2,500超で増分300以上であれば審査対象)。
- 11) Cadillac市場は、Michigan州のMissaukee County, Wexford CountyとOsceola County(Richmond, Hersey, Evart, Orientを除く)を含む。
- 12) Ashland市場とは、Ohio州のAshland County。
- 13) Akron市場とは、Ohio州のSummit County(minus Sagamore Hills, Northfield Center, Twinsburg, Richfield, and Boston townships, the villages adjoining these townships, and the cities of Twinsburg, Macedonia, and Hudson); Portage CountyのFranklin, Ravenna, Charlestown,

Paris, Brimfield, Rootstown, Edinburg, Palmyra, Suffield, Randolph, Atwater, and Deerfield と city of Kent; Medina County の Guilford, Wadsworth, and Sharon と city of Wadsworth; Stark County の Lawrence and Lake; Wayne County の Milton, Chippewa と周辺の村部をいう。

14) ここで Canton 市場とは Ohio 州の Carroll County, Stark County の Marlboro, Lexington, Jackson, Plain, Nimishillen, Washington, Tuscarawas, Perry, Canton, Osnaburg, Paris, Sugar Creek, Sandy, Mahoning County の Smith をいう。

15) CRA は、地域資金ニーズに対応する目的で 1977 年制定された。背景には、Redlining 問題など地区差別・人種差別に対する法制で、銀行が低所得者の居住地域から集めた預金額の 10% 程度しか同地域に融資せず、その殆どが他地域に融資されていたという問題などに対応するものであったが、他方 CRA は銀行に低所得区域向けの信用割り当てを強いて、銀行経営を危うくするとの批判もあった。その結果、法案からは定量的な融資枠という条項は削除され、CRA 目的の融資は銀行の安全かつ健全な活動と両立しなければならないとされた。銀行が地域社会の信用ニーズに応じる具体的方法は特定せず、銀行の方針に委ねることとした。CRA は、銀行の活動を行なうことを許可されている地域社会の金融ニーズに対応するという従来からの考え方を法律として再確認したものであった。Regulation BB として金融行政に取り入れられている。具体的には、連邦機関 (Fed, OCC, FDIC) に銀行の CRA 関連業務を検査させるもので、銀行が事業を行なう地域社会の信用ニーズに対応しているか、金融サービスが差別なく行なわれているかを、銀行の記録に基づいて審査する。すなわち、"a written evaluation of the institution's record of helping to meet the credit

needs of its entire community, including LMI neighborhoods" が求められる。CRA が対象とする低所得区域とは、10 年に一度実施の国勢調査の最新の区域区分に基づいている。区域の中位の家計所得の周囲の区域の中位の家計所得に対する比率で、low (低所得: 0-49%)、moderate (低中所得: 50-79%)、middle (中所得: 80-119%)、upper (高所得: 120% 以上) の区域に分類される。これらの区域分類は、10 年毎に変化する CRA の直接の検査対象区域は、low-and-moderate-income neighborhoods である。CRA の規制監督機関は、銀行の認可、買収・合併、支店設置、拠点の移転、預金保険の申請に際しては、これらの銀行の地域社会における活動記録を考慮しなければならない。すなわち、銀行業に対して許認可の権限を持つ監督機関は、低所得地域社会への関与が弱い銀行に対して、その権限をもって銀行業の許認可申請を否認したり、遅延させたり、条件付き認可をすることができる。その結果、銀行に CRA 業務を促進することができるようになっている。一方、CRA は低所得区域の住民団体や個人が銀行や監督機関に対して、銀行の CRA 業務や銀行業の許認可に関して異議申立や意見の開陳を認めている。村本 [2005] 参照。

16) CRA-rating は総合評価が、Outstanding, Satisfactory, Need to improve, Substantial noncompliance の 4 段階、項目別評価が Outstanding, High satisfactory, Low satisfactory, Needs to improve, Substantial noncompliance の 5 段階である。村本 [2005] 第 8 章参照。

17) ライバル行であった NationsBank (1991 年設立、North Carolina の Charlotte を本拠としていたスーパーリージョナルバンク) と対比され、比較的ドライな経営の NationsBank に対し、地域密着を徹底した Wachovia として日本でも地域金融機関の範とされた。Nations Bank は 1998 年に Bank of America (BankAmerica) を吸収合併して、名称

を Bank of America とした。

- 18) アメリカの大手タバコメーカー、R.J. レイノルズ・タバコ・カンパニーの本拠が、Winston-Salem にあり、そのタバコの銘柄の一つが Salem である。Salem の呼称は、Winston-Salem に由来するブランド名で、1956 年に世界初のフィルター付メンソールシガレットとして誕生し、約半世紀に亘りメンソールに拘り続けてきた、歴史あるメンソール専門ブランドとして知られる。
- 19) Wachovia 傘下の預金金融機関は、Wachovia Bank, N.A., Charlotte, North Carolina (“Wachovia Bank”) ; Wachovia Bank of Delaware, N.A. (“Wachovia Bank-DE”) and Wachovia Trust Company, N.A., both in Wilmington, Delaware; and First Union Direct Bank, N.A., Augusta, Georgia である。

---

むらもと つとむ

1945 年生まれ。一橋大学大学院修了後、成城大学に勤務。その間、(独) 中小企業基盤整備機構副理事長を兼務し、中小企業支援に携わる。金融審議会・中小企業政策審議会等でリレーションシップ・バンキングや協同組織金融機関のあり方など地域金融・中小企業金融の議論に参加する傍ら、郵政審議会・同行政審議会・情報通信審議会などで郵便貯金制度の議論にも関わる。

【著書】

『信用金庫論』金融財政事情研究会、2015 年 2 月

『元気な中小企業を育てる』蒼天社出版、2015 年 3 月

『リレーションシップ・バンキングと知的資産』金融財政事情研究会、2010 年 12 月

『リレーションシップ・バンキングと金融システム』東洋経済新報社、2005 年 2 月

『制度改革とリテール金融』有斐閣、1994 年 6 月 など。

---